

大宮台地域コミュニティバス（おおみやバス）の運行について

問題の経緯

令和 5 年 9 月上旬に千葉中央バス担当者が来館し、都賀線（鎌取駅～都賀駅）を 10 月 1 日から減便し、翌令和 6 年 3 月末に廃止する旨を通知された。

理由：経営上の問題と、運転手の問題（2024 問題）

減便：6 時～20 時の間約 20 便 ⇨ 朝 1 往復のみの皆無に等しい減便

地域としての対応

この通知を受けた自治会・26 連協・地域運営委員会の代表者として、公共交通の責務や住民の足の確保を含め、数回に亘り市交通政策課と次の対応策を協議。

- 1, 沿線住民に対しアンケートの実施
- 2, 協議会設置条例に基づく地域公共交通部会を設置の依頼。

なお、交通政策課と協議中に知った事や TV の取材は。口頭報告する。

地域公共交通活性化協議会・地域公共交通部会の設置と協議

交通部会委員：大学教授 3、運輸局 2、県警 1、バス協会 2、バス会社 2、

千葉市 5, 地域代表 1（前田）、の 16 名で協議会を数回開催

結論：表記コミュニティバス運行を令和 6 年 4 月から開始する。

結論に基づき：バス会社の入札、予算編成、等々多大な事務処理

分科会設置：運行ダイヤ分科会、運賃分科会を設置し委員数名で諸課題の具体化

地域にコミュニティバス運行開始情報（ダイヤ、運賃）通知

4 往復 8 便、料金：300 円、1 日券 500 円 定期、障害者

運行協議準備会（3 月）：沿線自治会、千葉市、バス会社の 19 名により開催

ここで、愛称“おおみやバス”と命名

第 1 回運行協議会（6 月）：沿線自治会、千葉市、バス会社等の 19 名でより開催

乗車人数目標 1 台当たり 7 名に対し 4 月＝5.5 人、5 月＝6 人

協議会の主題は、1 台当たり 7 名以上とするための乗車促進であり、

令和 7 年 9 月（1.5 年）時点で最初の継続判断

以上